

ふるさと住民の皆さんをお招きして

11月22日、ふるさと住民の皆さんに応援への感謝を直接お伝えしようと『おかえり・ただいま・はじめまして感謝祭』を開催。宿泊体験館きこりに、県内外から13人の方をお迎えしました。

司会はフリーアナウンサーの菅原美智子さん。現在の様子を伝えるトークセッションでは、「健やかに暮らせるいいたての会」会長の小林美恵子さん(前田・八和木)、工房マートルの大槻美友さん(草野)、飯館村地域おこし協力隊の秋山聖奈さん(上飯樋)に、村への想いやこれから実現したいことなどを語っていただきました。また、飯館産の食材を使ったランチを囲んで交流し、村民有志の音楽の演奏なども行われました。

参加した皆さんも「若い方が移住し盛り上げてくださっていることに感激しました」「改めて飯館村の魅力に気づくことができました」「いつか移住を叶えたい」など、それぞれの想いを語り合いました。新たな出会いが生まれ、応援してくださる方との結び付きが深まる、温かな感謝祭となりました。

11月の村の動きと主なできごと

1日～3日・移住定住「暮らし体験ツアーア」(村内各所)

2日・深谷地区農地中間管理事業調印式(深谷集会所)

- ・関沢地区農地中間管理事業調印式(関沢集会所ふれあいハウス)
- 3日・ふかや風の子広場5周年記念イベント(ふかや風の子広場)
- 5日・飯館村老人クラブ連合会会員交流会(交流センター「ふれ愛館」)
- 7日・飯館村表彰式及び祝賀会(交流センター「ふれ愛館」／宿泊体験館きこり)
 - ・福島ユナイテッドFCスポーツ教室(「いたてスポーツ公園」)
- 8日・福島くらし&しあわせフェア 出展(東京都千代田区・東京交通会館)
- 8日～9日・第62回田黒区商工まつり 出店(東京都田黒区・田黒区民センター)
- 9日・飯館村男女共同参画事業「自分らしく生き方について」講演会(交流センター「ふれ愛館」)
 - ・秋の防火パレード(交流センター「ふれ愛館」／村内各所)
- 9日・12日・13日・16日・27日・28日・行政区ヒアリング(村役場)
- 11日・第4回飯館村総合振興計画審議会(村役場)
- 13日・横山キクヨさん(草野) 百歳賀寿
- 14日・読書推進についての意見交換会(交流センター「ふれ愛館」)
- 21日・定例教育委員会(村役場)
- 22日・いいたて冬まつり及び「日本で最も美しい村」連合県内加盟町村合同物産展
(いいたて村の道の駅までい館)
- 22日～23日・JOCーN移住・交流＆地域おこしフェア 出展(東京都江東区・東京ビッグサイト)
 - ・ふるさと住民向けイベント「おかげり・ただしま・はじめまして感謝祭」(宿泊体験館きこり)
- 22日～24日・移住定住「暮らし体験ツアーア」(村内各所)
- 26日～27日・2025『よし仕事おこし』フェア(東京都江東区・東京ビッグサイト)
 - ・文化財保護審議会(交流センター「ふれ愛館」)
- 29日・までいの里のじども園生活発表会(までいの里のじども園)

「飯舘村魅力向上発信事業」の一環で大学祭や県外イベントに出店
飯舘村の物産を各地に広めに行こう!

・各地の大学と協働し学園祭に出店



①10月25・26日、千葉大学松戸キャンパス「戸定祭」。②11月1日、明治大学生田キャンパス「生明祭」。③11月1日、大阪大学豊中キャンパス「まちかね祭」。

各大学の学生の皆さんには、ディスプレイや販売に積極的に関わっていた者や役場職員も現地に駆け付け、商品のよさ、飯館村の魅力を、直接来場者に伝えました。

多くの人が村に関心を寄せて商品を手に取り、学生の皆さんも含め、交流の輪が広がりました。



4 11月8・9日、「目黒区商工まつり(目黒リバーサイドフェスティバル)」。**5** 11月23日、「しちがはま肉フェスティバル」。



震災前から交流が続く東京都目黒区の「第62回目黒区商工まつり(目黒リバーサイドフェスティバル)」には、11月8日・9日の2日間出店しました。新米、村の特産品、酒類などを販売し、中でも「あぶくまもちのおしるこ」は年代を問わず大好評でした。栽培農家と共に花卉も販売し、店頭で生産者と来場者が交流しました。

また、11月23日には、宮城県七ヶ浜町の「第4回しちがはま肉フェスティバル」に出店し、飯館産黒毛和牛を中心に、村の農産品をPRしました。

クマ鈴の付け方を効果的に!



全国的にクマの被害が多発する中、飯館村でもクマの確認が相次ぎだことから、村は10月に、クマ鈴を緊急配付しました。配付数は各世帯2個とし、教育機関や関係施設にも配付しました。

クマ鈴は、クマに人の存在を知らせ、突然の遭遇を防ぎます。リュックの上部やベルトのループなど、動くたびに音が鳴る場所に取り付けましょう。鈴を複数付けることで、より効果を高めるとも言われています。

今年はクマの冬眠の時期が遅くなるのではないかという予測も聞かれます。引き続き、日頃の対策もお願いします。

- ①朝夕の登山や散歩、農作業を行う際は複数人で行動すること。
 - ②クマ鈴やラジオなど音のするものを身に付けること。
 - ③野外に生ゴミ・野菜・果物・ペットフードなど、クマの食べ物になるものを置かないこと。